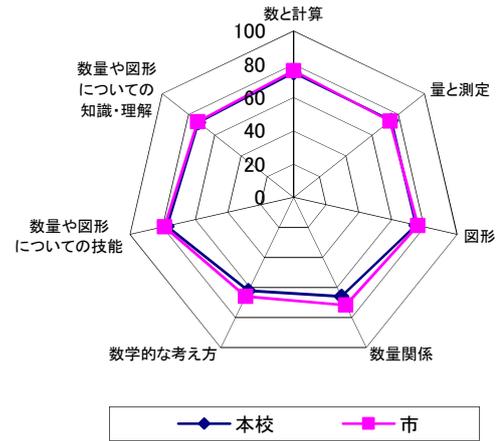


宇都宮市立国本中央小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	75.1	76.2	72.9
	量と測定	74.4	73.6	70.6
	図形	75.0	76.0	72.1
	数量関係	65.9	71.8	66.9
観点別	数学的な考え方	62.1	65.9	58.0
	数量や図形についての技能	77.4	78.9	76.2
	数量や図形についての知識・理解	72.5	73.1	70.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>○昨年度課題であった0を含む整数を偶数と奇数に類別する問題での正答率は88.2%で市の平均を上回ることができ取り組みの成果が見られた。</p> <p>●小数同士のかけ算では79.4%と市の平均をやや下回った。正確な計算力に課題が見られた。</p> <p>●図を使って小数の除法の文章問題に合った式</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>・小数の乗法の計算で課題が見られたので、ドリル学習等を通して正確に計算できるようにする。</p> <p>・文章問題や図を見て正しく立式できるように、文章読解やテープ図の読み方を習得できるように問題に多く触れさせて習得を図る。</p>
量と測定	<p>○面積や体積に関する問題では、公式を使って正確に解答を導き出すことができている児童が多く、特に直方体を組み合わせた形の体積の正答率は、89.7%と市の平均を大きく上回った。</p> <p>●単位量当たりの大きさを考察する問題の正答率は市の平均より上回ってはいるものの35.3%と低く、思考し、活用する問題で課題が見られた。</p>	<p>・単位量当たりの大きさを考察する問題で課題が見られたので、シートの面積と人数の割合を求め、どのグループが最も混んでいるかじっくり考える場を設け、話し合いながら自分の言葉で説明できるようにする。また、基準の数字を変えた問題に触れさせ、考えを確かなものにするようにする。</p>
図形	<p>●線対称な図形の対称の軸が何本あるかを答える問題の正答率は61.8%で、市の平均より5ポイント低く、知識を活用する問題に課題が見られた。</p>	<p>・線対称な図形の対称の軸が何本あるかを答える問題に課題が残ったので、様々な線対称や点対称の図形に触れさせる。さらに知識を活用する問題を効果的に位置付け、思考する力を育て、知識を活用できるようにする。</p>
数量関係	<p>○比例の関係を、xとyを使って式に表す問題の正答率は89.7%で、市の平均と同程度であった。</p> <p>●文字を使った式が表す場面を選んだり、一方の文字の値から他方の文字の値を求める問題では、市の平均を2～3ポイント下回った。</p> <p>●反比例についての表を読み取り、表にあてはまる数を求める問題の正答率は51.5、1%で、市より18.4ポイント低く、反比例の学習での課</p>	<p>・文字を使った式の問題で課題が見られたので、文字を使った式の表す内容の読み取りや数字の意味の理解を確実にできるようにしたうえで、文字を使った式の知識を活用できる問題に多く触れられるようにする。</p> <p>・反比例の表の読み取りや数字の意味の理解を確実にできるようにしたうえで、反比例の知識を活用できる問題に多く触れられるようにする。</p>